

きずな

2012年 3月 1日

NO 874

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (TEL 62-6200)

2月27日、井原市議会2月定例会が開会しました。会期は3月22日までの25日間です。27日の開会日、瀧本市長が議案の提案説明に先立ち、新年度の市政運営の基本方針とを話しました。その内容を今週と来週でお知らせします。

本市の24年度の予算案につきましては、平成24年度が井原市第6次総合計画前期基本計画の仕上げの年であるとともに、後期基本計画策定に向けた重要な1年と位置づけ、財源確保が厳しい中であっても、将来都市像「美しい自然 息づく文化 笑顔でつながるひと 元気発信都市いばら」の実現に向け、6つの政策の柱である「まちづくり」を着実に実行するため、前年度同様積極的な予算編成を行ったところで

す。中でも、「安全・安心」のまちづくり、「協働」のまちづくりのための事業を重点的に予算化したほか、若者から高齢者まで、誰もが安心して住み続けられる快適なまちづくりのための定住対策と地域経済活性化対策の一部を「定住促進」事業として取りまとめ、予算計上しています。

その結果、一般会計予算額は、前年度当初比3億5,500万円、1.8%の減となるものの、190億1,300万円の大型予算を編成したものです。

また、特別会計は、国民健康保険事業など9会計で130億1,692万円、水道、病院、工業用水道の企業会計では、38億6,815万1,000円を計上しており、合わせて平成24年度の予算総額は358億9,807万1,000円となっています。

それでは、施策の基本方針について、井原市第6次総合計画の前期基本計画に基づき、順次、申し述べてみたいと思います。



心豊かでたくましいひとを育てるまちづくり

学校教育 ◆幼稚園教育の充実のために、24年度より3歳児教育を井原、出部の2幼稚園で、また、預かり保育を出部、芳井の2幼稚園で新たに開始します。◆小・中学校におきましては、非常勤講師配置による少人数指導の実施や、小・中学校国語科で新たに副教材としてデジタル教科書を使った授業を行い、児童生徒の学力向上を図る。◆不登校児童生徒の学校復帰や未然防止のために不登校相談員を配置し、適応指導教室と連携しながら、訪問カウンセリング事業や児童生徒自立支援事業等に取り組みます。◆大学生への井原市奨学資金貸付金を増額するとともに、返還の特例を設けて定住の促進を図る。

学校施設等の整備 ◆耐震化事業を最重点に実施することとしており、小学校では校舎や体育館の4棟、中学校では校舎や体育館の3棟、幼稚園では園舎2棟の合計9棟の耐震改修工事を実施する。これらの事業が完了いたしますと、学校施設において94.4%の耐震化が完了することとなります。◆荏原幼稚園の園舎改築工事をはじめ、給食センターのボイラーの更新に取り組みます。

社会教育の推進 ◆稲倉公民館の建設や大江公民館の設計に取り組むなど、地区公民館を計画的に整備する。◆美星天文台の屋上、外壁の改修。◆井原市ふれあいセンターに階段昇降機を設置する。

◆平成21年度に策定した「第2次生涯学習基本計画」の見直しをすることとしております。

スポーツ活動の充実 ◆競技力の維持向上と選手の育成強化の支援を行う。

施設整備 ◆井原海洋センター大規模改修工事を行う。◆24年度、市民体育祭が第50回記念大会を迎えるにあたり井原運動公園陸上競技場の施設整備を行う。◆3月に完成する井原市グラウンド・ゴルフ場については、9月のオープンに向けて準備を進め、健康づくり、体力づくり、仲間づくりの場として多くの市民にご活用いただけるよう努めます。

地域文化の振興 ◆市民の芸術、文化活動への支援を行う。◆昨年度に続き、井原市にゆかりのある偉人をデータベース化し、井原放送による番組制作及び放映を行うとともに、

2面につづく

1面よりつづく 本市の文化財とあわせてインターネット等で市内外に広く情報発信する。

田中美術館 ◆秋季特別展として「国立西洋美術館巡回展」を開催し、西洋美術の魅力をご堪能いただけるよう企画することとしています。

いつまでも健康ではつらつと生きるまちづくり

市民の健康づくりの新たな取り組み ◆不育症で治療を受ける人の経済的負担を軽減するため、治療費の一部を助成し、支援します。◆乳がん、子宮頸がん検診、胃がんと大腸がん検診の一部無料化を継続実施するとともに、前立腺がん検診を地区会場でも受けられるようにするなど、受診しやすい体制づくりに努めます。◆いばらっ子の元気を応援するため、子宮頸がん予防ワクチン等の予防接種費用助成を、引き続き、行う。◆子ども医療費では、引き続き、中学校3年生までの子どもたちの医療費を無料化し、健やかな成長を支援してまいります。

笑って健康元気アップ事業 ◆「元気アップ体操」の普及啓発を続けて行う。◆食育の要素を取り入れた「笑顔の食卓パワーアップ事業」も継続実施し、市民皆様の健康づくりを支援する。

障害者福祉 ◆障害者自立支援法の改正等、障害者を取り巻く環境は大きく変化しております。こうした中、障害者の地域生活への移行を一層進めるための相談支援体制の強化やケアマネジメントの拡大を行う。◆各種の自立支援事業や地域生活支援事業を実施し、地域で自立した生活を営むことができるよう、障害者福祉の推進に努めます。◆備後圏域の6市2町で運営することも発達支援センターで、発達障害児等の支援を10月からスタートすることとしています。



高齢者福祉 ◆いきいきデイサービス事業や軽度生活援助サービス事業、寝具類乾燥消毒サービス事業等の実施により高齢者福祉を推進するとともにいばらサンサン交流館において、三世交代事業を引き続き、実施する。◆市の直営で運営していた井原市特別養護老人ホーム星の郷については、この四月から小田・後月三友会の指定管理で運営することになっており、円滑な移行に努めます。

介護保険事業 ◆平成24年度から平成26年度を計画期間とする「井原市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 第5期」の策定を行ったところであり、この計画に基づきサービスの充実に努めます。◆保険料については、井原市保健福祉計画策定委員会の答申を最大限尊重し、本市の介護給付費準備基金を可能な限り取り崩して、保険料上昇の抑制を行い、負担の軽減を図ることとしています。

児童福祉 ◆保育ニーズの多様化に対応するため、引き続き、乳児保育、延長保育、一時預かりなど保育サービスの充実に努めます。◆四季が丘に新たに放課後児童クラブを開設し、児童の健全育成を図るとともに児童クラブの安定した運営のための支援を行うこととしています。

地域医療体制の充実 ◆市民病院の医師確保においては、山田院長とともに再三、大学ならびに関係医療機関に対し派遣要請を続けており、昨年4月の外科常勤医師の確保のほか、非常勤医師ではありませんが、外来、手術等において新たに循環器内科、糖尿病内科、内科、麻酔科医師の応援が得られ、常勤医師の負担軽減や診療の充実が図られているところです。これらの応援については、岡山大学は勿論のこと、川崎医科大学、岡山済生会総合病院のご協力もいただいております。◆市民病院の運営におきましては、まだまだ課題もあり、今まで以上に私をはじめ院長以下病院スタッフが一丸となって経営改善に努めながら、地域の中核病院として、質の高い医療提供や市民から信頼される病院づくりを目指し、地域医療の確保に努めます。

美しい自然を未来につなぐまちづくり

自然環境保全 ◆小田川を市民の憩いの場とするため、市民との協働により、河川敷の伐木や草刈りなどを行い、河川の自然環境保全に努める。

次週第875号へつづく

この「きずな」は森本ふみお議員のブログ (<http://jcp-seibu.sakura.ne.jp/morimoto/>) でも見れます

生活に役立ち勇気と確信のわくしんぶん[赤旗]をお読みください(月額日刊紙2,900円日曜版800円)